

諸方志施入左ニ記ス

一 焼野阿弥陀如来石像之素屋、其先延享三

寅年（棟木ニモ／書付有之）造立也、修覆寛政二戌年也、今年

木柱板釘中之町丸屋儀兵衛被致寄進候也

屋根廻り瓦等古来之修復重而用ヒタリ

大工（山本町九左エ門／当町利兵衛）十六工ニ成立

一 此焼野當寺三世救譽是遁上人代ニ開基杯ト

認拵タル金谷ノ者共之虚偽手形己ニ、十四世

常譽上人代ニ致露頭カケ候処ヲ、現住檀中トモニ

急度被取糺候事、別記（十四世／代也）有之ノミニテ外ニ

草創（焼野）之旧記モ不見、尤此焼野當寺所持

之地面ナル故他郷ハ勿論雖為当所檀中、且外

共ニ永代墓印等被立置度願望有之族ハ

葬前ニモ相頼被来場所迄モ及応対当寺

致承諾候上、為地代銀（忒枚他所ノ忒枚当所）被指出而後ニ

石塔等被相建事、如別記（十四世／代也）右地面ノフリニ

候得ハ惣体何角モ寺ヲ取斗助力施入等乞受

候所存無之処、右柱木等（丸義）志有之今年修覆

等イタシ候趣、諸方相聞江為随喜、鳥目七貫文

余志施入有之作料（大工）手嶋石（焼穴）立山石（礼場）代之

内ノ払方ニ用ヒタリ

一 七百八拾三文 金川町十四軒志 取次 藤屋仁兵衛

一 八百三拾文 同町拾軒之志 取次 角屋三郎兵衛

一 壹貫五百文 同町拾八軒ノ志 取次 鍵屋久左衛門

一 壹貫八百文 中之町中ノ志 取次 大和屋藤兵衛

一 八百八拾五文 北ノ町中志 取次 万屋市郎兵衛

一 壹貫文 平之山中志 取次 西村道覚叟

一 五百文 西山中志（腰折／陶之） 取次 濁池 重右衛門

一 六地藏尊石像正徳年中造立（丸屋）石柱屋根又并

舟後光地藏尊之ハ石四本柱之素屋而已トヲ亦

宝曆年中ニ金川丸屋儀右衛門志ニ被立之也

一 右地藏尊ハ皆大道（南北）通りニ山ノ手向ニ列ニ安置シ

在之処ヲ今ノ墓所入込道（東西）通りへ下モ向キニ遷

転安置スル事モ寛政二戌年也

一 六地藏尊ハ墓入込道ヨリ上ミ手ニ安置在之、舟後

光地藏尊忒体ハ墓入込道ヨリ下モ手ニ有之、尤六地

蔵尊元安置之場所并礼場共ニ凡横巾壹間斗ニ

長サ五間斗ハ後ノ畑へ開込置キタリ

一 焼野ノ中山ノ手畑際同溝（南北）通りニ凡横巾壹間

高サ四五尺斗ノ土居藪有リ、今年金川ヨリ

岩鼻迄ノ町中西山平之山中へモ手伝相

頼ホリクスシ、今之地形並下スルモノ也

十七主謁之

享和三亥年御触書之写

本寺

無本寺

末寺

一御朱印高有無之訳

一御宮有之御位牌等公儀方御安置有之候ハ、其訳

一関東江從前之諸御札其外差定参上

仕候ハ、何々ニ参上与申訳、但御札席并献上物有無

一勅願所之訳 但、勅願所當時連綿式ハ

所々勅願所ニ而當時ハ勅願所ニ無之候ハ、其訳

一公儀其外方葵御紋附之品御寄進有之候ハ、其訳

一所司代御屋敷兩御役所御初入并繼目等ニ御札罷出来候分相勤候間席

一官位任叙之分初官位ハ昇進之次第

一住職之儀、從公儀被 仰付式檀林并法類等より請持又ハ弟子譲り等

之訳

一無住之節 御朱印護持其外江計方

一組寺有無

一隱居所塔頭寺院号本寺無本寺末寺寺号山号院号

一堂上方猶子之訳、本寺末寺訳、但本末之儀ニ付、出入有之候ハ、出

入中之者可認出

一夫々宗旨并地名所付諸願届等罷出候間席

右ヶ条之通訳書半紙堅帳ニ委鋪相認メ、当月廿日迄ニ東御役所
江可差出候、

尤末寺之向ハ本寺方取集メ差出可申候、或ハ本寺江相断末寺方
直ニ差出候共勝手次第第二可致候、當時ハ本寺無之向ハ末寺方書
付可差出候、此旨山城国中寺院江不洩様可申通事

亥七月

右之通被仰出候ニ付申触候右御触ニ相当候儀有之候ハ、訳書半紙堅
帳ニ委敷相認、来十六日九ツ時迄ニ無相違御当職江可差出候、尤相当
候儀無之候ハ、不及申出候、以上

亥七月

今橋常陸介

已上三枚享和三亥七月御触書之写也

享和三亥年七月

御奉行所江差上候扣也

山城国綴喜郡八幡橋本

浄土宗本寺

一御朱印五石三斗 頂戴仕候 西遊寺

一御朱印 無住之節ハ御朱印頂戴之檀家之内江相預ケ護持仕候

一住職之儀ハ代々弟子譲ニ而御座候

一当寺ハ普現山聖善院西遊寺与申候而本寺ニ御座候

一本寺末寺之詔格別二旧記も無御座候得共、往古々之末寺二御座候、
左之通

宗清庵 右同断
右之通相違無御座候、已上

国所山号寺号書付差上申候

城州綴喜郡八幡橋本

河州交野郡楠葉村

浄土宗

浄国山安養寺

享和三亥年七月

西遊寺

同国同村

契普(印)

楠照山光明院

御奉行所

同国同村

妙音山建長寺

同国同村

立願山傳相寺

同国同村

無量山延壽寺

同国同村

松栄山長福寺

撰津国西成郡大道新家村

幽称庵 山号八無御座候

孫寺

安養寺末

河内国交野郡楠葉村

極楽寺 山号八無御座候

右同断

同国同村

表紙解説

	1 2 3
5	4
(裏)	(表)

1. 西遊寺古文書調査の様子
2. 念佛寺門前（撮影：中井正寛）
3. 念佛寺古文書調査の様子
4. 安居橋から男山を望む（撮影：中井正寛）
5. 八幡清水井の路地田町（たまち）（撮影：中井正寛）



京都府立大学文化遺産叢書 第10集

石清水門前寺院・南山城地域の古文書

—京都府歴史資料の調査—

編 集 竹中友里代（京都府立大学文学部特任講師）

東 昇（京都府立大学文学部 准教授）

発 行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都教区八幡組浄土宗青年会

発行日 2016年3月30日

印 刷 双林株式会社

〒601-8106 京都市南区新千本通十条下ル
